

2026
シラバス



第2学年
北海道遠別農業高等学校教務部

I N D E X

1	論理国語	• • •	1
2	歴史総合	• • •	6
3	数学Ⅰ	• • •	10
4	化学基礎	• • •	12
5	体育	• • •	15
6	保健	• • •	17
7	英語コミュニケーションⅠ	• • •	19
8A	課題研究（インターンシップ）	• • •	23
8B	課題研究（分会活動）	• • •	25
9	総合実習	• • •	27
10	農業と情報	• • •	30
11	作物	• • •	33
12	野菜	• • •	36
13	畜産	• • •	38
14	食品製造	• • •	41
15	教員基礎（希望者のみ）	• • •	43

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
国語	論理国語	2	必修	4	足立 大知

使用教科書	第一学習社 高等学校標準論理国語				
使用副教材	意味で覚えて漢字を知る 漢トレ いずな書店				
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。	知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		
	思考力表現力 判断力等		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりすることができるようにする。		
	学びに向かう力 人間性等		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習の到達目標	知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。			
	思考力表現力 判断力等	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを拡げたり深めたりすることができる。			
	学びに向かう力 人間性等	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を自ら培うことができる。			
学習の留意点	気づいたこと、感心したこと等は、ノートなどに書き留める習慣を身につけること。				
評価規準	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。				
	【思考・判断・表現】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				
	【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。				

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態度：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	7	新しい地球観 (毛利衛)	【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。 【思】「書くこと」（3h）において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」（4h）において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 【主】オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい地球観」との関連について積極的に考察しようとしている。	【知】 発問評価 指名音読 【思】 発問評価 発表・報告 【主】 活動観察 書3 書3 読4 読4

5	7	進化が導き出した答え (稲垣栄洋)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。</p> <p>【主】生物の進化における多様化について理解し、それを人間の生き方に照らして積極的に考えを深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書6 読4 読8</p>
	7	情けは人の・・・ (俵万智)	<p>【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>【主】本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を積極的に読み取ろうとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 指名音読 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書9 読4 読12</p>
	7	犬も歩けば棒に当たる (阿刀田高)	<p>【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>【主】一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について積極的に理解を深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 指名音読 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書12 読4 読16</p>
6	7	バラと通過はどう違う？ (浜矩子)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【主】本文中で通過と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通過の本質を積極的に理解しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書15 読4 読20</p>
	7	ヒトはなぜヒトになったか (長谷川真理子)	<p>【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【主】因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を積極的に理解しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 活動観察</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告 活動観察</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書18 読4 読24</p>

7	7	共同性の幻想 (菅野仁)	<p>【知】 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】 「同調圧力」が働く社会的背景を理解し、現代における人間関係の在り方について積極的に考察しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 指名音読 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書21 読4 読28</p>
	7	鏡としての他者 (榎本博明)	<p>【知】 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】 文章構造を基に筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を積極的に考えようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書24 読4 読32</p>
8	7	法に関わる文章を読み比べる	<p>【知】 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法について理解している。</p> <p>【思】 「書くこと」(2h)において、特定の資料について、様々な観点から概要をまとめることができている。</p> <p>「読むこと」(5h) 関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する方法を理解している。</p> <p>【主】 二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を積極的に学ぼうとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 活動観察</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告 活動観察</p> <p>【主】 活動観察 書2 書26 読5 読37</p>
	7	ボランティアへの参加を伝える メールの文章を検討する	<p>【知】 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法について理解している。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、特定の資料について、様々な観点から概要をまとめることができている。</p> <p>「読むこと」(4h) 関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する方法を理解している。</p> <p>【主】 実用文の書き方のルールを積極的に身に付けようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書29 読4 読41</p>
9	7	新しい博物学を (池内了)	<p>【知】 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>【主】 各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を積極的に考察しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 指名音読 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書32 読4 読45</p>
	7	哲学的思考とは何か (苦野一徳)	<p>【知】 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>【主】 具体例や言い換えに留意しながら内容を正確に把握し、「哲学的思考」の方法を積極的に理解しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書35 読4 読49</p>
10				

	7	SNSと意見の分極化 (岡本真一郎)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして積極的に考えを深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書38 読4 読53</p>
11	7	コミュニケーションの文化 (平田オリザ)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】文章構成や事例をもとに「コミュニケーションの文化」に関する筆者の主張を積極的に把握しようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 活動観察</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告 活動観察</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書41 読4 読57</p>
12	7	クマを変えてしまう人間 (千松信也)	<p>【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を身に付けている。</p> <p>【主】猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について積極的に理解を深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書44 読4 読61</p>
	7	カブトムシから考える里山と物質循環 (大倉茂)	<p>【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を身に付けている。</p> <p>【主】人間と自然との関わりの変化を、自然の社会化という視点から考察した筆者の論理を積極的に読み解こうとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書47 読4 読65</p>
1	7	経験の教えについて (森本哲郎)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、文章に関連した題材について、調査したことをまとめたり発表したりする方法身に付けている。</p> <p>「読むこと」(4h)において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>【主】論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引き付けて積極的に考えを深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書50 読4 読69</p>
2	7	僕らの時代のメディア・リテラシー (森達也)	<p>【知】情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。</p> <p>【思】「書くこと」(3h)において、文章に関連した題材について、調査したことをまとめたり発表したりする方法身に付けている。</p> <p>「読むこと」(4h)において、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>【主】筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について積極的に考えを深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察</p> <p>書3 書53 読4 読73</p>

	7	支え合うことの意味 (鷺田清一)	<p>【知】 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】 抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について積極的に考えを深めようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書56 読4 読77</p>
3	7	科学技術は暴走しているのか(佐倉統)	<p>【知】 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思】 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>「読むこと」(4h)において、根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を的確に身に付けている。</p> <p>【主】 AIやロボット技術の現状や日本における捉え方をふまえ、科学技術との向き合い方を積極的に考えようとしている。</p>	<p>【知】 発問評価 指名音読</p> <p>【思】 発問評価 発表・報告</p> <p>【主】 活動観察 書3 書59 読4 読81</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
地理歴史	歴史総合	2	必修	2	田倉 季典

使用教科書	歴史総合 新訂版 むすびつく世界と日本 (実教出版)
使用副教材	
科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
学習の到達目標	<p>(1) 世界史・日本史の大まかな流れをつかみ、基本的な歴史的な事象を理解できる。</p> <p>(2) 人々の生活や社会のあり方が、どのように変化したのか気がつくことができる。</p> <p>(3) 過去の事象と類似した現在の事象は何か考察することができる。</p> <p>(4) 様々な歴史的な事象などから、自己の価値観を広げることができる。</p>
学習の留意点	<p>(1) 授業はプリントで行う。</p> <p>(2) ファイルは、歴史総合専用で一冊準備すること。</p> <p>(3) 忘れ物をした際は、授業が始まるまでに報告すること。</p> <p>(4) 積極的に発言すること。</p>
評価規準	<p>【知識・技能】</p> <p>(1) 歴史的な事象について、世界・日本と広い視野から捉え、現代の諸課題について歴史的な経緯を理解している。</p> <p>(2) 写真やグラフ、風刺画などの諸資料から様々な情報を読み取ったり調べたりし、適切にまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や特色について、時期や年代、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	オリエンテーション 歴史の扉 第1編 近代化と私たち 1 近代化への胎動 1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2 幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 3 アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化	【知】 18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 【思】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較するなどして，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】 近代化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	【知】 活動の観察 単元テスト 【思】 記述の確認 単元テスト 【態】 ワークシート 活動の観察
5	6	2 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7 オスマン帝国の衰退とロシア 8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸時代の滅亡	【知】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思】 産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	【知】 活動の観察 単元テスト 【思】 記述の確認 単元テスト
6	7	3 欧米諸国と日本の国民国家形成 10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革 12 日本のアジア外交と諸改革 13 自由民権運動と大日本帝国憲法	【態】 近代化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	【態】 ワークシート 活動の観察
7	6	4 帝国主義の時代 14 帝国主義の時代へ 15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16 日清戦争後の東アジア	【知】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思】 帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連づけたりするなどして，正鵠主義政策の特徴，列強間関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	【知】 活動の観察 単元テスト 【思】 記述の確認 単元テスト
8	5	17 日露戦争と東アジアの変動 18 日本の産業革命	【態】 近代化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	【態】 ワークシート 活動の観察

9	6	<p>第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>5 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>19 第一次世界大戦</p> <p>20 ロシア革命とソ連の成立</p> <p>21 米騒動とデモクラシー</p>	<p>【知】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。</p> <p>【思】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその田の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>【知】 活動の観察 単元テスト</p> <p>【思】 記述の確認 単元テスト</p>
10	7	<p>22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制</p> <p>23 アジアの民族運動</p> <p>24 第一次世界大戦後の欧米諸国</p> <p>25 広がる社会運動と普通選挙の実現</p> <p>6 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>26 世界恐慌と各国の対応</p> <p>27 ファシズムの時代</p>	<p>【態】 国際秩序の変化や大衆化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【知】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>【思】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその田の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。</p>	<p>【態】 ワークシート 活動の観察</p> <p>【知】 活動の観察 単元テスト</p> <p>【思】 記述の確認 単元テスト</p>
11	6	<p>28 満州事変と郡部の台頭</p> <p>29 日中戦争と戦時体制</p> <p>30 第二次世界大戦の勃発</p> <p>31 第二次世界大戦の終結</p>	<p>【態】 国際秩序の変化や大衆化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>【態】 ワークシート 活動の観察</p>
12	6	<p>32 国際連合の成立と冷戦</p> <p>33 日本占領と日本国憲法</p> <p>34 朝鮮戦争と日本</p>		
1	6	<p>第3編 グローバル化と私たち</p> <p>7 冷戦と脱植民地化</p> <p>35 植民地の独立</p> <p>36 米ソ両陣営の動揺</p> <p>37 日本の国際社会復帰と高度経済成長</p> <p>8 多極化する世界</p> <p>38 石油危機と世界経済</p>	<p>【知】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>【思】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連づけたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>【知】 活動の観察 単元テスト</p> <p>【思】 記述の確認 単元テスト</p>
2	6	<p>39 緊張緩和から冷戦の終息へ</p> <p>40 日本の経済の大国化</p> <p>9 グローバル化と現代世界</p> <p>41 国際紛争と対立</p> <p>42 国際秩序の変容</p>	<p>【態】 グローバル化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>【態】 ワークシート 活動の観察</p>

3	5	一年間の振り返り		
---	---	----------	--	--

※单元ごとに单元テストを行う。

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
数学	数学Ⅰ	2	必修	2	今井進裕

使用教科書	最新 数学Ⅰ (数研出版)
使用副教材	パラレルノート 数学Ⅰ (数研出版)
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
学習の到達目標	<p>1 基礎的な知識・技能の習得ができる。</p> <p>2 二つの変化する数量について、その関係を数式やグラフで表現することができる。</p> <p>3 図形の面積や角度の計量において、その過程や結果を考察・判断することができる。</p> <p>4 問題解決に向かって、様々な活動に粘り強く取り組むことができる。</p>
学習の留意点	<p>授業で問題を解いた後に、副教材を用いて復習を行うこと。</p> <p>教科書を見返して復習を行うこと。</p>
評価規準	<p>【知識・技能】</p> <p>(1) 二次関数および図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>(2) 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(1) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連づけて考察することができる。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(1) 数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。</p> <p>(2) 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。</p> <p>(3) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点 (知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度)

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5 6 7	20	<p>☆第3章 二次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数 関数とグラフ 二次関数のグラフ 平方完成 二次関数の利用 	<p>【知】 二次関数のグラフ、最大値・最小値の求め方について理解を深めることができる。</p> <p>【思】 身近な事象について、二次関数と捉えて数式化・グラフ化することができる。</p> <p>【態】 問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えようとしたり、目的に応じて適切に変形しようとしている。</p>	<p>【知】 単元テスト レポート</p> <p>【思】 単元テスト レポート</p> <p>【態】 レポート 振り返りの記録</p>
8 9 10	20	<p>☆第3章 二次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の最大最小 二次方程式 二次関数のグラフとx軸の共有点 二次不等式 課題学習 	<p>【知】 二次方程式、二次不等式の求め方について理解を深めることができる。</p> <p>【思】 問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりすることができる。</p>	<p>【知】 単元テスト レポート</p> <p>【思】 単元テスト レポート</p> <p>【態】 レポート 振り返りの記録</p>

			<p>【態】二次方程式・二次不等式を考える意義を理解しようとしている。</p> <p>【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。</p>	
11 12	12	<p>☆第4章 図形と計量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・三角比が与えられたときの角 	<p>【知】三角比の定義について理解を深めることができる。</p> <p>【思】線分の長さや角度の大きさを求める際に、三角比を用いて考察することができる。</p> <p>【態】日常の事象や社会の事象に三角比を活用しようとしている。</p>	<p>【知】単元テスト レポート</p> <p>【思】単元テスト レポート</p> <p>【態】レポート 振り返りの記録</p>
1 2 3	18	<p>第4章 図形と計量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積 ・課題学習 	<p>【知】正弦定理・余弦定理とはなにかを理解することができる。</p> <p>【思】図形の計量を行う際に正弦定理・余弦定理を用いて考察することができる。</p> <p>【態】場面に応じてどの定理を用いるのが適切であるかを考えようとしている。</p> <p>日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。</p>	<p>【知】単元テスト レポート</p> <p>【思】単元テスト レポート</p> <p>【態】レポート 振り返りの記録</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
理科	化学基礎	2	必修	2	高田 駿

使用教科書	化学基礎（数研出版）
使用副教材	カラー版インプレス化学基礎ノート
科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 2. 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 3. 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
学習の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業プリント・ワークシート等を忘れずに記入する。 2. 観察・実験の時間では特にしっかり話を聞き、勝手に行動をとらない。 3. 忘れ物等の報告および自身でできる対応について授業前に報告を行う。
評価規準及び評価配分	<p>【知識・技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、化学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探究しようとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点 (知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度)

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	2	オリエンテーション 序章 化学と人間生活	<p>【知】 科学的に探究する方法を理解するとともに、身近な物質の探究に必要な基本操作を身に付けている。</p> <p>【思】 身近な物質の探究に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。</p> <p>【態】 身近な物質の探究に関する事物・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>【知】 単元テストにより、基本的な知識・技能が身についているかどうかを評価します。</p> <p>【思】 単元テストにより、多面的に考察したり、判断する力を評価します。また、レポート等にまとめるなどの表現力を評価します。</p>
5 ～ 7	2 2 7	1編 物質の構成 1章 物質の探究 1 純物質と混合物 2 混合物の分離(1) 3 混合物の分離(2) 4 単体と元素 5 元素の確認 6 状態変化と熱運動 2節 物質の構成粒子 1 原子 2 電子配置とイオン 3 周期表	<p>【知】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化及び物質の構成粒子などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化及び物質の構成などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【態】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化及び物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>【態】 小テスト、ワークや課題への取組状況等を総合的に評価します。</p>
8 ～ 10	2 2 1 0	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 1 イオン結合 2 イオン結晶 2節 共有結合 1 分子と共有結合 2 分子の電子式と構造式 3 分子の極性 4 分子間力と分子結晶 5 高分子化合物と分子の利用 6 共有結合の結晶 3節 金属結合 1 金属結合と金属 2 金属の利用	<p>【知】 イオンの生成・共有結合・金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思】 イオンやイオン結合、分子からなる物質、金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【態】 イオンやイオン結合、共有結合や分子からなる物質、金属などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	
1 ～ 2	2 2 2	第2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 濃度 4 化学変化と化学反応式	<p>【知】 物質と化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p>	

		<p>5 化学反応式と量的関係(1)</p> <p>6 化学反応式と量的関係(2)</p> <p>2章 酸と塩基</p> <p>1 酸と塩基</p> <p>2 酸・塩基の価数と強弱</p> <p>3 水素イオン濃度とpH(1)</p> <p>4 水素イオン濃度とpH(2)</p> <p>5 中和反応の量的関係</p> <p>6 中和滴定</p> <p>7 塩</p> <p>3章 酸化還元反応</p> <p>1 酸化と還元</p> <p>2 酸化数と酸化剤・還元剤</p> <p>3 酸化剤と還元剤の反応</p> <p>4 酸化還元反応の量的関係</p> <p>5 金属のイオン化傾向</p> <p>6 電池</p> <p>7 酸化還元反応と金属の製錬</p>	<p>【思】 物質と化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。</p> <p>【態】 物質と化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	
3	2	終章 化学が拓く世界	<p>【知】 日常生活や社会を支えている科学技術について理解している。</p> <p>【思】 日常生活や社会を支えている科学技術についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【態】 日常生活や社会を支えている科学技術に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	体育	2	必修	2	長野 和真

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	Active Sports
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
学習の到達目標	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養っている。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。
評価規準及び評価配分	<p>【知識及び技能】</p> <p>1 体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と運動の実践を通して、多様な楽しみ方を共有している。</p> <p>2 各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうとともに、各領域に応じた技能や攻防ができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする意欲を持っており、健康・安全を確保している。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	体づくり運動	○	○	○	<p>【知】仲間と自主的に関わっている。体力の向上を図るための運動の計画を立てている。</p> <p>【思】課題を発見し、コミュニケーションを図っている。</p> <p>【態】ルールを守り、互いに助け合い教え合っている。</p>	活動観察
5	4	体育理論 体づくり運動	○			<p>【知】運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解している。</p> <p>【知】仲間と自主的に関わっている。体力の向上を図るための運動の計画を立てている。</p>	活動観察

5 ・ 6	8	器械運動（マット運動）	○	○	○	【思】自己や相手の課題について分析し、他者に伝えている。 【知】自己に適した技で演技している。	活動観察 スキルテスト
7 ・ 8	8	サッカー	○	○	○	【知】ボール操作と連携した攻守を展開している。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。	活動観察 ワークシート
9	6	陸上競技	○	○	○	【知】各種目特有の技能を身に付けている。 【思】記録を伸ばすために、自己分析し、改善につなげている。 【態】自己の課題解決に向けて自主的に取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト
10	8	バスケットボール	○	○	○	【知】ボール操作と連携した攻守を展開している。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。。	活動観察
11 ・ 12	10	体育理論 バレーボール	○	○	○	【思】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断している。 【知】安定したボール操作をしている。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。	ワークシート 活動観察 スキルテスト
1 ・ 2	12	スキー	○		○	【知】深めたい技能を選択し、取り組んでいる。 【態】技能の向上を目指し取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト
3	8	体育理論 空手道	○		○	【態】運動やスポーツの効果的な学習の仕方を理解している。 【知】空手道に関わる技能を身に付けようとしている。 【態】武道の礼法・作法などの伝統的行動を大切にしている。	ワークシート 活動観察 スキルテスト

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	保健	2	必修	1	長野 和真

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	現代高等保健体育ノート
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。
学習の到達目標	(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 (2) 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
学習の留意点	(1) 課題解決に向けて実生活と結びつけて考察する。 (2) 理解したことを表現する。
評価規準及び評価配分	【知識・技能】 生涯を通じる健康、社会生活と健康について理解を深め、その内容に関わる技能を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進の視点を持ち、現在及び将来の生活を健康で明るく豊かなものにすることを目指して、取り組んでいる。

年間学習計画

評価の観点 (A: 知識・技能 B: 思考・判断・表現 C: 主体的に学習に取り組む態度)

月	時数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			A	B	C		
4	3	【生涯を通じる健康】 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康		○	○	B 男女の性機能の特徴について知り、思春期の心と健康について考え、説明している。 A 性情報を正しく認識し、異性を尊重する態度についての学習に主体的に参加しようとしている。	観察 ワークシート
5	2	3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康		○	○	A 結婚生活には、性機能の成熟や心身の健康が求められていることについて理解している。 B 妊娠・出産期を健康に過ごすために必要な周囲の支援、公的サービスの活用が必要であることについて、理解したことを発言したり、記述している。	観察 ワークシート
6		5. 避妊法と人工妊娠中絶	○	○	○	B 家族計画の意義について知り、妊娠・出産・人工妊娠中絶の意思決定を	観察

	3	6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康				するために必要な知識を発言したり、記述している。 A 中高年期の健康は若いころからの健康的な生活習慣が重要であることを理解している。 C ノーマライゼーションの理念を理解し、主体的に課題を分析しようとしている。	ワークシート
7	3	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康	○	○		A 保健制度とその活用について理解している。 B 医療制度の整備が進んでいる要因を、課題をもとに考え、それらを説明している。	観察 ワークシート
9	5	【健康を支える環境づくり】 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康	○	○		B 大気汚染の変遷について理解し、自身の生活の在り方や考え方について課題を見出し、改善策について考えている。 A 水質汚濁・土壌汚染の歴史（公害）について理解している。	観察 ワークシート 考査
10	3	3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備		○	○	B 環境汚染の防止・改善には多元性が求められることを踏まえ、環境問題について思考している。 C ごみ処理の現状を知り、実生活で実行できることについて主体的に考えようとしている。	観察 ワークシート
11	4	5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	○		○	A 食品衛生活動の必要性を理解している。 C 環境汚染予防対策として、3Rの必要性について、主体的に考えている。	観察 ワークシート
12	4	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用	○		○	A 保健制度とその活用について理解している。 B 医療制度の整備が進んでいる要因を、課題をもとに考え、それらを説明している。	観察 ワークシート
13	3	9. 医薬品の制度とその活用	○			A 医薬品の正しい使用法について理解している。 B 医薬品の安全性を守る取組について説明できる。	観察 ワークシート
23	5	10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加			○	A 各機関の保健活動・社会的対策について理解している。 B 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。	観察 ワークシート 考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	必修	2	川本 璃音

使用教科書	COMET English Communication I (数研出版)
使用副教材	COMET基本文法定着ドリル1 コーパス1800 アクシスジーニアス
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと ア 日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと〔やり取り〕 ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的话题について強いようする語句や文事前の準備などにおいて多くの支援を活用すれば基本的な語句や文を用いて情報や考え気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、読んだり聞いたりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
学習の到達目標	<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
学習の留意点	<p>(1) 英語コミュニケーションⅠ専用のファイルまたはノートを用意し、毎時間持参すること。</p> <p>(2) 授業中は英語を使ってコミュニケーションをとること。</p> <p>(3) A L Tとの授業では積極的にA L Tとコミュニケーションをとること。</p> <p>(4) 分からないところはその授業中もしくは授業終わりに質問するなどして理解を深めること。</p>
評価規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点 (知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度)

月	時数	単元・学習内容	評価規準 ◎=主領域 (○=副領域)	評価方法
4 5	10	Lesson 06 Convenience Stores: Keys to Their Success [題材内容] ・英文からコンビニエンスストアの工夫を読み取る。 ・自分の好きな店・よく行く店について、考えをまとめて紹介文を書く。 [領域] ◎書くことのア ○読むことのア [文法] ・接続詞that	◎書くこと 【知】情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えるために必要となる語句や文を理解し、自分の好きな店やよく行く店について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。 【思】読み手に行ってみたいと思ってもらえるように、自分の好きな店やよく行く店について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えている。 【態】読み手に「行ってみたい」と思ってもらえるように、自分の好きな店やよく行く店について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えようとしている。 ○読むこと 【知】〈知識〉文章を読み取るために必要となるthat節の用法を理解している。 〈技能〉様々な場所について書かれた紹介文を読み取る技能を身に付けている。 【思】自分の好きな店やよく行く店について説明するために、様々な場所について書かれた紹介文を読んで、概要や要点を捉えている。 【態】自分の好きな店やよく行く店について説明するために、様々な場所について書かれた紹介文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	◎書くこと 【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察 ○読むこと 【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】活動の観察 【態】振り返りの記述、活動の観察
5	2	単元テスト、振り返り		
6 7 8	10	Lesson 07 High School Aquarium [題材内容] ・英文を聞いて、水族館部の生徒たちの活動について知る。 ・自分たちの学校を紹介する。 [領域] ◎話すこと [発表] のア ○聞くことのア [文法] ・現在完了形	◎話すこと [発表] 【知】情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えるために必要となる語句や文を理解し、自分の学校について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 【思】聞き手に興味を持ってもらえるように、自分の学校について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えている。 【態】聞き手に興味を持ってもらえるように、自分の学校について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えようとしている。 ○聞くこと 【知】文章を聞き取るために必要となる現在完了形の用法を理解し、インタビュー形式の文章を聞き取る技能を身に付けている。 【思】自分たちの学校を紹介するために、生徒たちの活動についての文章を聞いて、概要や要点を捉えている。 【態】自分たちの学校を紹介するために、生徒たちの活動についての文章を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。	◎話すこと [発表] 【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、単元テスト、振り返りの記述、活動の観察 ○聞くこと 【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、単元テスト、振り返りの記述、活動の観察

9	2	単元テスト、振り返り		
9 10	10	Lesson 08 Smart Farming [題材内容] ・英文を読んで、スマート農業について知る。 ・スマート農業について英語で提案する。 [領域] ◎話すこと [やりとり] のイ ○読むこと のイ [文法] ・受動態	◎話すこと [やりとり] 【知】 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えるために必要となる語句や文を理解し、スマート農業について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 【思】 相手に納得してもらえるように、スマート農業について、情報や考え、気持ちなどを理由と共にやりとりして伝えている。 【態】 相手に納得してもらえるように、スマート農業について、情報や考え、気持ちなどを理由と共にやりとりして伝えようとしている。 ○読むこと 【知】 文章を読み取るために必要となる受け身の用法を理解し、スマート農業について書かれた紹介文を読み取る技能を身に付けている。 【思】 スマート農業について英語で提案するために、スマート農業について書かれた紹介文を読んで、概要や要点を捉えている。 【態】 スマート農業について英語で提案するために、スマート農業について書かれた紹介文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	◎話すこと [やりとり] 【知】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【態】 パフォーマンステスト、単元テスト、振り返りの記述、活動の観察 ○読むこと 【知】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】 活動の観察 【態】 振り返りの記述、活動の観察
11 12	11	Lesson 09 Food Waste [題材内容] ・英文を聞いて、食品廃棄の問題について知る。 ・食の問題について意見を交換する。 [領域] ◎話すこと [やりとり] のイ ○聞くこと のイ [領域] 比較級・最上級。	◎話すこと [やりとり] 【知】 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えるために必要となる語句や文を理解し、食の問題について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 【思】 相手に関心を持ってもらえるように、食の問題について、情報や考え、気持ちなどを理由と共にやりとりして伝えている。 【態】 相手に関心を持ってもらえるように、食の問題について、情報や考え、気持ちなどを理由と共にやりとりして伝えようとしている。 ○聞くこと 【知】 文章を聞き取るために必要となる比較の用法を理解し、食の問題に関する文章を聞き取る技能を身に付けている。 【思】 食の問題について意見を交換するために、食品廃棄の問題に関する文章を聞いて、概要や要点を捉えている。 【態】 食の問題について意見を交換するために、食品廃棄の問題に関する文章を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。	◎話すこと [やりとり] 【知】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【態】 パフォーマンステスト、単元テスト、振り返りの記述、活動の観察 ○聞くこと 【知】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察 【思】 活動の観察 【態】 振り返りの記述、活動の観察
11	2	単元テスト、振り返り		
12 1 2	11	Lesson 10 William and His Hospital [題材内容] ・英文を読んで、登場人物について知る。	◎書くこと 【知】 情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えるために必要となる語句や文を理解し、地域のために自分ができるこ	◎書くこと 【知】 パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察

		<p>・ 地域のために自分なら何ができるか、考えをまとめて書く。</p> <p>[領域]</p> <p>◎書くこと ○読むこと</p> <p>[文法]</p> <p>・ 関係代名詞</p>	<p>とについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思】読み手に伝わるように、地域のために自分ができることについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えている。</p> <p>【態】読み手に伝わるように、地域のために自分ができることについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えようとしている。</p> <p>○読むこと</p> <p>【知】文章を読み取るために必要となる関係代名詞の用法を理解し、登場人物についての文章を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思】地域のためにできることを説明するために、登場人物についての文章を読んで、概要や要点を捉えている。</p> <p>【態】地域のためにできることを説明するために、登場人物についての文章を読んで、概要や要点を捉えようとしている。</p>	<p>【思】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察</p> <p>【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察</p> <p>○読むこと</p> <p>【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察</p> <p>【思】活動の観察</p> <p>【態】振り返りの記述、活動の観察</p>
2	2	単元テスト、振り返り		
3	10	<p>Reading 02 Baily: The First Hospital Facility Dog in Japan</p> <p>[題材内容]</p> <p>・ 英文を読んで、ファシリティドッグについて知る。</p> <p>・ 社会で活躍する動物について調べ、発表する。</p> <p>[領域]</p> <p>◎話すこと [発表] のイ</p> <p>○読むこと</p>	<p>◎話すこと [発表]</p> <p>【知】情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えるために必要となる語句や文を理解し、社会で活躍する動物について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思】聞き手に興味を持ってもらえるように、社会で活躍する動物について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えている。</p> <p>【態】聞き手に興味を持ってもらえるように、社会で活躍する動物について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えようとしている。</p> <p>○読むこと</p> <p>【知】文章を読み取るために必要となる表現を理解し、ファシリティドッグについての文章を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思】社会で活躍する動物について紹介するために、ファシリティドッグについての文章を読んで、概要や要点を捉えている。</p> <p>【態】社会で活躍する動物について紹介するために、ファシリティドッグについての文章を読んで、概要や要点を捉えようとしている。</p>	<p>◎話すこと [発表]</p> <p>【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察</p> <p>【思】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察</p> <p>【態】パフォーマンステスト、単元テスト、振り返りの記述、活動の観察</p> <p>○読むこと</p> <p>【知】パフォーマンステスト、単元テスト、活動の観察</p> <p>【思】活動の観察</p> <p>【態】振り返りの記述、活動の観察</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	課題研究	2	必修	1	三木、川本

使用教科書	
使用副教材	
科目の目標	進路に関する課題を設定し、その課題の解決を図る実践を通して、進路実現にむけた課題解決の能力や自発的、創造的な態度を図る。
学習の到達目標	職業体験をとおして生産技術を身に付けるとともに、経営技術を体験することで、職業人として必要な資質・能力を身につけ、実践することができる。
学習の留意点	実際の職業を体験し、自ら進んで活動することで働くことを経験することで、将来の進路選択に活かせる活動にすること。
評価規準	【知識・技術】 進路実現のための課題解決を図る学習を通じて、実践的な知識や技能を身に付け、適切に応用している。
	【思考・判断・表現】 基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に課題の解決を図り、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現のための課題を設定し、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	1	オリエンテーション	【主】 進路計画の流れを理解し、実践的な態度を身に付けようとしている。 【思】 学校生活やその他の生活の具体的な目標を立てることができる。 【知】 進路実現のために就業観や職業観を身に付けることが重要であることを理解している。	【知】 活動観察 【思】 ワークシート 【主】 活動の観察
5	2	インターンシップ事前指導	【主】 働くことの意義について考え、積極的に取り組んでいる。 【思】 インターンシップに対する意気込みを明確にし、表現する創造的な能力を身に付けている。 【知】 進路実現のために就業観や職業観を身に付けることが重要であることを理解している。	
6	24	インターンシップ実施	【主】 主体的にインターンシップに取り組み、実践的な態度を身に付けようとしている。 【思】 インターンシップをとおして、自分の考えを論理的思考力に基づいて表現することができる。 【知】 インターンシップをとおして専門的な技能を身に付け、その技能を適切に応用している。	

7	3	インターンシップ事後指導 インターンシップ報告会	<p>【主】就業体験をとおして自らの課題を設定し、実践的な態度を身に付けようとしている。</p> <p>【思】インターンシップをとおして学んだことをまとめ、報告会にて適切に表現し発表している。</p> <p>【知】インターンシップをとおして進路目標達成のために必要な知識を身につけ、理解している。</p>	
1 1	1	社会理解（進学・就職別） ○面接練習 ○小論文学習	<p>【主】自己の進路実現に向けて、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【思】正しい挨拶や受け答え、小論文の書き方とはなにか説明することができる。</p> <p>【知】自分の良さは考えを他者へ最大限に伝える方法について理解している。</p>	
1 2	1	自己理解 ○志望理由書の書き方	<p>【主】自己の進路実現に向けて、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【思】3年間の成果とこれからの私について、文章として表現することができる。</p> <p>【知】丁寧な字で志望理由書を書くことができる。</p>	
1	1	自己理解 ○求人票の見方	<p>【主】自己の進路実現に向けて、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【思】求人票の見方について、項目ごとに理解しようとしている。</p>	
2	1	自己理解 ○履歴書作成	<p>【主】自己の進路実現に向けて、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【思】履歴書について、項目ごとに理解しようとしている。</p> <p>【知】履歴書について、項目ごとに理解しながら作成に取り組んでいる。</p>	
3	1	自己理解 ○履歴書作成	<p>【主】自己の進路実現に向けて、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【思】履歴書について、項目ごとに理解しようとしている。</p> <p>【知】履歴書について、項目ごとに理解しながら作成に取り組んでいる。</p>	

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	課題研究	2	必修	2	滝澤、宮川、三木、西内

使用教科書	なし
使用副教材	作物、野菜、草花、畜産、食品製造
科目の目標	農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 専門分会活動を通して、自主的にプロジェクト活動を行い、地域の課題を分析し改善に向けた総合的な知識と技術などの実践的な能力を習得させる。 2 自らの課題や主張をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力を育成し、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。 3 主体的に研究・競技活動を行い、農業の技術の習熟を図るとともに、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成する。
学習の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付けること。 2 日頃から農業に関わるニュースに関心を持ち、農業経営を具体的な数字で理解すること。
評価規準及び評価配分	<p>【知識・技術】 農業の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業の各分野における総合的な技術の習熟と、各科目における知識の確認と検証を通して総合的な技術に関する課題を発見し、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって、農業各分野の専門的な内容について、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身につけようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 農業の各分野における自らの職業生活について考えながら、農業の総合的な知識や技術、経営や管理について企画力や管理能力、活用技術などを学ぶ中で、農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけようとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	振り返りと課題設定 計画立案	【思】 プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【思】 活動観察
5 ～ 6 1 0	20 6	プロジェクト活動実施 中間発表会にむけた準備	<p>【態】 プロジェクト学習について関心を持ち、栽培・飼育や環境調査を主体的、計画的に実施する学習方法について探究しようとしている。</p> <p>【知】 プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。</p>	<p>【態】 活動観察</p> <p>【知】 記録点検</p>

1 0 ~ 2	20 6	プロジェクト活動実施	<p>【思】 プロジェクト学習について関心を持ち、栽培・飼育や環境調査を主体的、計画的に実施する学習方法について探究しようとしている。</p> <p>【知】 プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。</p>	<p>【態】 活動観察</p> <p>【知】 記録点検</p>
3	14	プロジェクト活動の振り返り（評価・反省） 北北海道実績発表大会にむけた準備 次年度活動に向けた計画立案	<p>【態】 プロジェクト学習について関心を持ち、栽培・飼育や環境調査を主体的、計画的に実施する学習方法について探究しようとしている。</p> <p>【思】 プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【知】 プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付け、学習内容を農業の各分野の内容に結び付けて習得しようとする学習方法であることを理解している。</p>	<p>【態・思】 活動観察</p> <p>【知】 記録点検</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	総合実習	2	必修	1	滝澤、宮川、三木、西内

使用教科書	なし
使用副教材	なし
科目の目標	農業のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、プロジェクト学習や専門教科の学習と関連付けて考え、考察する能力を養い、実践的・体験的な学習を行い、社会を支え産業の発展を担う職業人としての資質・能力を育成する。
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題解決のための学習活動を通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に活用できるより高度な知識と技術を深化・総合化し、体系的・系統的に理解し、身に付けられる。 2 現状の把握や分析などを通して農業に関する課題を自ら発見し、学習の目的や課題を意識しながら計画的に課題解決を図り、記録、評価、検証、まとめ、発表を通し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。 3 課題に取り組む学習活動を通して、自らの課題解決能力の向上を図り、主体的かつ協働的に農業の振興や社会貢献に取り組む態度を養う。
学習の留意点	日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付ける。
評価規準	<p>【知識・技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	1 学校農業クラブ活動 ・農業クラブ入会式 ・クラス内意見発表大会	<p>【知】作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして意見発表の学習に活用している。</p> <p>【思】作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして農業に関する課題の解決に取り組むその内容を適切に表現している。</p>	<p>【知】FFJファイルの内容</p> <p>【思】発表の観察</p> <p>【態】参加状況観察</p>

			【態】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして農業クラブ活動に取り組もうとしている。	
5	3	1 学校農業クラブ活動 ・プロジェクト計画発表会 ・校内意見発表大会	【知】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習、校内意見発表大会に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習、校内意見発表大会について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習、校内意見発表大会について関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	【知】 発表原稿の内容 【思】 自分の役割を理解し実践することができる。 【態】 参加状況観察
6 7	9	1 学校農業クラブ活動 ・校内技術競技大会	【知】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内技術競技の学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内技術競技の学習について思考を深め、基礎的な知識、技術を主体的に学習をしている。 【態】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内技術競技の学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法 について探究しようとしている。	【知】 発表原稿の内容 【思】 発表の観察 【態】 参加状況観察
11	5	1 学校農業クラブ活動 ・プロジェクト中間発表会	【知】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かしてプロジェクト学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	【知】 発表原稿の内容 【思】 発表の観察 【態】 参加状況観察

2	8	<p>1 学校農業クラブ活動 ・校内実績発表大会</p>	<p>【知】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内実績発表の学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。</p> <p>【思】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内実績発表の学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【態】 作物、野菜、畜産、食品の授業で学んだ知識を生かして校内実績発表の学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。</p>	<p>【知】 発表原稿の内容</p> <p>【思】 自分の役割を理解し実践することができる。</p> <p>【態】 参加状況観察</p>
3	4	<p>1 学校農業クラブ活動 ・FFJファイル記入 ・1年の振り返り</p>	<p>【知】 FFJファイルに行事の内容を詳細に記入している。</p> <p>【思】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学ぼうとしている。</p> <p>【態】 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>	<p>【知】 FFJファイルの内容</p> <p>【思】 FFJファイルの内容</p> <p>【態】 参加状況観察</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業と情報	2	必修	2	三木 崇裕

使用教科書	農業と情報
使用副教材	
科目の目標	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</p>
学習の到達目標	<p>1 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につける</p> <p>2 情報社会の特徴と農業への先進技術の活用方法などに関心を持ち、且つ情報の活用について倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養う</p> <p>3 環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ち、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解できる。</p>
学習の留意点	<p>1 話を聞くときはパソコン機器に触れない。</p> <p>2 授業に関係の無い行動をしない。</p>
評価規準	<p>【知識・技術】 農業と情報に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる</p> <p>【思考・判断・表現】 情報社会の特徴と農業への先進技術の活用方法などに関心を持ち、且つ情報の活用について倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養う</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ち、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解できる。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	<p>○オリエンテーション</p> <p>○自己紹介スライドの作成</p> <p>○私たちの生活と農業の情報化</p> <p>情報社会における私たちの生活</p> <p>情報とメディア</p> <p>情報社会とモラル</p>	<p>【知】 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 情報の活用について倫理観を持ち科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。</p> <p>【主】 情報社会と私たちの関わりに関心を持ち、情報社会の仕組みについて理解できる。</p>	<p>【知】 小テスト</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>

5	5	<p>○文章入力</p> <p>○社会を支えるコンピュータ</p> <p>コンピュータのしくみ</p> <p>データや情報の表現</p> <p>情報通信ネットワーク</p> <p>インターネットのしくみ</p> <p>情報セキュリティ</p>	<p>【知】 農業に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる</p> <p>【思】 コンピュータに関するしくみを科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。</p> <p>【主】 社会を支えているコンピュータに関心をもち、その仕組みについて理解できる。</p>	<p>【知】 課題提出</p> <p>【思】 行動観察</p> <p>【主】 行動観察</p>
6	5	<p>インターンシップ報告会に向けたプレゼン資料の作成</p>	<p>【知】 パワーポイントを目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 インターンシップで学んだことについてパワーポイントを用いて表現することができる。</p> <p>【主】 プレゼン資料作成の仕組みについて理解できる。</p>	<p>【知】 行動観察</p> <p>【思】 プレゼンテーション</p> <p>【主】 行動観察</p>
7	5	<p>○農業情報処理に向けた学習</p> <p>Word、Excel</p>	<p>【知】 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 Word・PP扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】 Word・PPについて主体的に活用し、 取り組む姿勢を身に付けようとしている。</p>	<p>【知】 行動観察</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
8	5	<p>○情報社会とモラル</p>	<p>【知】 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 情報の活用について倫理観をもち科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。</p> <p>【主】 情報社会と私たちの関わりに関心をもち、情報社会の仕組みについて理解できる。</p>	<p>【知】 小テスト</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
9	5	<p>○コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>情報表現のためのソフトウェア</p> <p>文書の作成と表現</p> <p>データの集計と視覚化</p>	<p>【知】 農業に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる</p> <p>【思】 情報デザインに関する基礎的な知識を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】 情報デザインに関心をもち、その仕組みについて理解できる。</p>	<p>【知】 行動観察</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
10	5	<p>○コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>データベースシステムとオープンデータ</p> <p>画像・図形処理ソフトウェアの利用</p>	<p>【知】 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 画像・図形処理ソフトウェア扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉え</p>	<p>【知】 行動観察</p> <p>【思】 課題提出</p>

			<p>て合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】画像・図形処理ソフトウェアについて主体的に活用し、取り組む姿勢を身に付けようとしている。</p>	<p>【思】 行動観察</p>
11	7	<p>○専門分会中間発表会に向けたプレゼンテーション資料の作成</p>	<p>【知】 専門分会に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。</p> <p>【思】 画像・図形処理ソフトウェア扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】 画像・図形処理ソフトウェアについて主体的に活用し、取り組む姿勢を身に付けようとしている。</p>	<p>【知】 行動観察</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
12	8	<p>○スマート農業への展望 スマート農業の目指す将来システム開発と設計 人工知能</p>	<p>【知】 スマート農業に関する知識を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる</p> <p>【思】 スマート農業関するしるしを科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。</p> <p>【主】 スマート農業に関心を持ち、その仕組みや役割について理解できる。</p>	<p>【知】 小テスト</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
1 ～ 2	10	<p>○情報処理技能 Excelを活用した情報の処理 処理データの活用</p>	<p>【知】 情報処理に関する基礎的な知識・技能を身に付け、情報収集や編集、情報活用の重要性を理解している。</p> <p>【思】 情報処理を扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】 情報処理について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、主体的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。</p>	<p>【知】 小テスト</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>
2 ～ 3	10	<p>○プログラミング プログラミングの設計 プログラミングの活用</p>	<p>【知】 プログラミングに関する基礎的な知識・技能を身に付け、プログラミング活用の重要性を理解している。</p> <p>【思】 プログラミングを扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p> <p>【主】 プログラミングについて主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、主体的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。</p>	<p>【知】 小テスト</p> <p>【思】 課題提出</p> <p>【主】 行動観察</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	作物	2	必修(全員)	2	滝澤 ジェス

使用教科書	作物(実教出版)
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習の到達目標	(1) 作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学習の留意点	1 作物の観察を中心に座学や実験実習を並行するので、記録ノートや配布物を必ず持参すること。 2 作業の記録や観察事項を正確に記録し、基礎基本的な栽培に関する知識や技術を学習すること。 3 地域の稲作の現状を理解し、これからの稲作経営のポイントとなる事項を考察できるように学習すること。
評価規準	<p>【知識・技術】 作物の生産と経営に関するプロジェクト学習を通して、作物の生理・生態や生育環境などの作物生産に必要な知識と技術、作物生産の計画、管理、評価などの作物経営に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 作物の生産と経営に関して、生産技術や生産工程、経費や流通・販売方法などの生産や経営に関する課題を発見し、地域の作物経営の実践事例や作物生産が果たす社会的な意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身につけようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 作物の生産と経営の学習を通して、作物生産が人々の健康と生命の維持に直結し、暮らしを守ることや、人々の暮らしを豊かにする素材を提供するという社会的な役割を担っていることを理解し、品質と生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる作物の生産と経営を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけようとしている。</p>

年間学習計画

評価の観点(知:知識・技術 思:思考・判断・表現 態:主体的に学習に取り組む態度)

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	ガイダンス ・プロジェクト学習計画 ・有機、GAP認証について ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	<p>【知】作物の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。</p> <p>【思】生育状況や施肥設計および栽培環境が生育状態や収量にどのような影響を与えるのか研究する。</p> <p>【態】研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立案できている。</p>	<p>【知】単元テスト</p> <p>【思】ワークシート</p> <p>【態】活動の観察</p>
4	5	作物の栽培特性(GAPに基づく管理) ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	<p>【知】作物の播種の知識と技術を理解している。</p> <p>【思】ジャガイモ、タマネギ、水稻の栽培方法を理解し、実行することができる。</p> <p>【態】ジャガイモ、タマネギ、水稻の播種について興味・関心を持ち、初期生育について意欲的に学習している。</p>	<p>【知】単元テスト</p> <p>【思】ワークシート</p> <p>【態】活動観察</p>

5 6	6	作物の栽培技術（播種） ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	【知】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の栽培技術を理解し、播種・定植をできる。 【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の最適な播種、定植タイミングを判断することができる。 【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の栽培技術に関心を持ち、積極的に組んでいる。	【知】 単元テスト 【思】 ワークシート 【態】 活動観察
6 7	1 0	作物の栽培特性（生育調査） ・ジャガイモ ・タマネギ ・水稻	【知】 ジャガイモ、タマネギの生育調査の意義を理解している。 【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の基本的な生育調査の方法を身に付けている。 【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の生育について興味・関心を持ち、意欲的に学習している。	【知】 単元テスト 【思】 ワークシート 【態】 活動観察
7	8	作物の栽培管理 ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	【知】 作物の状態を適切に判断して防除、追肥ができる。 【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の除草、防除について最適なタイミングを判断できる。 【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の栽培管理について関心を持ち、積極的に学んでいる。	【知】 単元テスト 【思】 ワークシート 【態】 活動観察
8	9	作物の栽培管理（生育調査） ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	【知】 栽培管理の基礎的な知識・技術を身に付け、栽培環境との関連について理解している。 【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の生育調査で得られたデータから次の管理について判断できる。 【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の生育調査について積極的に取り組んでいる。	【知】 単元テスト 【思】 ワークシート 【態】 活動観察
9	1 2	作物の収穫調整 ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理 ・タマネギ栽培管理	【知】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の収穫後の乾燥、調整方法について理解している。 【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の生育状態から最適な収穫タイミングを判断できる。 【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の収穫調整に必要な機械や道具に関心を持ち、積極的に学習している。	【知】 単元テスト 【思】 ワークシート 【態】 活動観察
9 1 0	6	作物の収穫調整（GAPに基づく） ・プロジェクト学習 ・水稻栽培管理 ・ジャガイモ栽培管理	【知】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の収量と品質評価ができて、その内容を理解している。	【知】 資料の完成度合い 【思】 ワークシート

		・タマネギ栽培管理	<p>【思】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の生育状態から収量と品質を評価して判断できる。</p> <p>【態】 ジャガイモ、タマネギ、水稻の収量と品質評価ができて、その内容を理解している。</p>	【態】 活動観察
1 1 1 2	6	プロジェクト学習のまとめ	<p>【知】 作物の基本的な知識を身に付けている。</p> <p>【思】 作物の収量試験の結果を分析して考察してまとめる。</p> <p>【態】 わかりやすい発表をするための努力をしている。</p>	<p>【知】 発表資料</p> <p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 活動観察</p>
1 2 3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・流通について ・1年間のまとめ ・次年度について 	<p>【知】 農産物の流通についての基礎を身につけ、その内容を理解している。</p> <p>【思】 1年間の成果についてデータをまとめ、評価することができる。</p> <p>【態】 次年度に向けての準備について興味、関心をもち、積極的に春の準備を行う。</p>	<p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 活動観察</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	野菜	2	必修	2	三木 崇裕

使用教科書	野菜（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を育成することを目指す。
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 3 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
学習の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期考査は座学を中心に課題し実習内容を含め出題するのでしっかり取り組むこと。 2 わからないところをしっかりと聞き理解する姿勢で臨み、疑問を持つことを習慣付けること。
評価規準	【知識・技術】 野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、野菜の意義や役割を理解している。
	【思考・判断・表現】 野菜に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 野菜に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技術 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	5	ガイダンス ・プロジェクト学習計画	【知】 作物の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。 【思】 研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立てられる。 【態度】 生育状況や施肥設計および栽培環境が生育状態や収量にどのような影響を与えるのか研究する。	【知】 観察・ワークシート 【思】 ワークシート 【態】 観察・ワークシート
4 5	1 5	野菜の特性と栽培技術 ・トマト・ナス	【知】 各種野菜の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。 【思】 各種野菜の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【態】 各種野菜の栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。	【知】 観察・ワークシート 【思】 ワークシート 【態】 観察・ワークシート
6 7	1 5	野菜の特性と栽培管理 ・トマト・ナス	【知】 各種野菜の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。	【知】 観察・ワークシート 【思】 ワークシート 【態】 観察・ワークシート

			<p>【思】 各種野菜の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。</p> <p>【態】 各種野菜の栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。</p>	
8 9	7	野菜の特性と栽培技術（収穫） ・トマト・ナス	<p>【知】 各種野菜の出荷基準に関する知識を身につけ、出荷調整方法を理解している。</p> <p>【思】 各種野菜の最適な収穫のタイミングを判断することができる。</p> <p>【態】 各種野菜の収穫について関心を持って主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知】 観察・ワークシート</p> <p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 観察・ワークシート</p>
7 8 9	7	商品化と生産物の管理・評価	<p>【知】 野菜の収穫と調製、出荷、その際の品質管理や品質検査及び野菜の商品化について理解している。</p> <p>【思】 品質の向上や消費者のニーズに配慮した付加価値を高める商品化について判断できる。</p> <p>【態】 野菜の収穫と調整、出荷、その際の管理、野菜の商品化について主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知】 観察・ワークシート</p> <p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 観察・ワークシート</p>
4 5 6 7 8 9	1 1	機械・施設の利用	<p>【知】 機械・施設の利用について、に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、意義や役割を理解している。</p> <p>【思】 温室の設備、環境制御技術について適切に理解、表現できる。</p> <p>【態】 大規模生産や品質の向上などについて主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知】 観察・ワークシート</p> <p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 観察・ワークシート</p>
1 2 1 2 3	1 0	プロジェクト学習のまとめ	<p>【知】 野菜の基本的な知識技能を身に付けている。</p> <p>【思】 作物の収量試験の結果を分析して考察して表現している。</p> <p>【態】 わかりやすい発表をするために主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【知】 観察・ワークシート</p> <p>【思】 ワークシート</p> <p>【態】 観察・ワークシート</p>

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	畜産	2	必修	2	宮川 拓

使用教科書	畜産（実教出版）
使用副教材	
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習の到達目標	1 めん羊のライフサイクルと飼養管理技術を習得できる。 2 乳牛の品種特性とライフサイクルを理解できる。 3 粗飼料の栽培管理及び収穫・貯蔵方法について理解できる。 4 家畜の生理・生態的な特性と消化器官に関する知識を習得できる。 5 めん羊の生殖生理を学び、繁殖管理及び分娩管理技術を習得できる。 6 めん羊の哺育時の体調管理と栄養について理解できる。
学習の留意点	1 めん羊の管理実習では、怪我をしないよう常にめん羊の行動に注意し安全に実習をおこないます。 2 畜産（酪農）に興味・関心を持ち、日本の畜産情勢を数字で把握できる数字力を身につける。
評価規準	【知識・技術】 家畜の特徴や役割、畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、生産性や品質の向上が経営発展へ繋がるような関連する技術を自ら学び、めん羊での管理作業や飼養管理を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題の解決を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 めん羊の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技術 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	2	ガイダンス ○めん羊の起源と品種特性 ○畜産の意義 ○家畜の種類	【知】家畜化の合理的な目的に関する知識を身に付け、理解している。 【思】めん羊の基礎的な歴史と生態を理解し、説明できる。 【態】家畜の種類を区別できるよう興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
4	4	家畜の保定技術 ○安全な保定方法	【知】危機管理を意識し、適切にめん羊の保定をする技術を身に付ける。 【思】めん羊の様子を観察して課題を発見し、解決している。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート

			【態】めん羊を安全に保定しようと主体的、協働的に取り組もうとしている。	
5	8	家畜の飼養管理技術 ○家畜の一生 ○畜産器具の種類と役割	【知】羊舎管理における畜産器具の基礎的な知識を身に付け、役割を理解している。 【思】家畜によっての飼養管理技術の違いについて考え、説明することができる。 【態】家畜の飼養管理に興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
6	8	乳牛の特徴 ○乳牛の一生 ○乳牛の品種と飼育特性 ○乳牛の理想の体型	【知】乳牛での飼養管理や搾乳関連の知識を身に付けている。 【思】乳牛のライフサイクルや生態に関する課題を発見し、品種と飼育特性を科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 【態】乳牛の理想体型の情報収集と分析を主体的に取り組もうとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
7	8	粗飼料の栽培管理及び収穫 ○粗飼料の種類 ○粗飼料の栽培方法 ○粗飼料の収穫方法	【知】粗飼料の生産について基礎的な知識を身に付け、収穫作業技術を身に付けている。 【思】粗飼料の種類と適した栽培環境を判断している。 【態】粗飼料について興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
8	4	家畜の繁殖技術 ○兆候の分娩の仕組み ○人工授精技術	【知】よい繁殖環境や方法について畜産経営の観点から関連する知識を身に付ける。 【思】発情の特徴を踏まえ、受精適期を合理的に判断している。 【態】繁殖生理が畜産経営の発展へつながるよう自ら学び、主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
9	8	畜産の食糧供給における役割 ○畜産の関わる仕事 ○畜産経営の役割	【知】国内と世界の畜産物の自給率の違いやその背景についての知識を身に付け、日本の畜産と食料との関係を理解している。 【思】畜産物の自給率と関連づけて畜産経営の課題を発見し、解決しようとしている。 【態】畜産経営の計画を自ら学ぼうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
10	6	めん羊の線虫の特性 ○線虫の種類 ○線虫が家畜に及ぼす影響 ○線虫被害の予防方法	【知】駆虫の趣旨を理解し、実施するうえでの技術を身に付け、理解している。 【思】線虫の家畜への影響、被害を解決しようとしている。 【態】線虫の効果的な予防について主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
11	8	家畜の生理特性と消化器官 ○反芻動物の消化器官 ○第一胃の役割	【知】家畜の消化器官と消化の過程を正しく理解している。 【思】消化器官の相互の関係を適切に表現している。 【態】反芻動物の消化器官の特性、ルーメン内の環境を踏まえた飼養管理を協働的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
12	6	家畜の生殖生理と繁殖管理 ○ホルモンの種類と働き ○分娩予定日と計算方法	【知】分娩に関する基礎的な知識を身に付け、理解している。 【思】めん羊の交配時の注意点を考慮し、交配日の確認から分娩日を正しく判断している。 【態】めん羊の生殖生理について主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
2 3	8	家畜の哺育管理 ○初乳の重要性	【知】哺育管理が今後の生育に及ぼす影響について基礎的な知識を身に付けている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート

	<p>○去勢 ○断尾</p>	<p>【思】 哺育管理における留意点について判断することができる。 【態】 環境変化に対応した哺育管理方法に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>【態】 観察・ワークシート</p>
--	--------------------	--	----------------------

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品製造	2	必修	2	西内 麻尋

使用教科書	食品製造
使用副教材	なし
科目の目標	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
学習の到達目標	<p>1 実験・実習をとおして、食品の特性と加工原理を理解し実践することができる。</p> <p>2 食品や製造機械、器具の安全な取り扱いについて実践することができる。</p> <p>3 食品衛生上の危害発生の防止方法について理解し、実践することができる。</p>
学習の留意点	<p>1 ノートを準備し、実習や授業で使用すること。</p> <p>2 製造実習は自己の健康管理を含め、衛生管理を徹底し、事故に十分注意すること。</p>
評価規準	<p>【知識・技能】 食品製造に関するプロジェクト学習をとおして基本的な知識を身に付けるとともに、製造原理や原材料の特性などを理解し実践することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の役割を理解し、周囲と協力しながら意欲的に実習に取り組むことができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 教科内プロジェクトのテーマから自分自身の課題を設定し解決に向けて実践することができる。</p>

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	12	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○食品製造の意義と動向 ○手洗いの実践と衛生検査 ○製造器具の取り扱い 	<p>【知】食品や製造器具について正しく理解することができる</p> <p>【思】日本の食品産業がかかえる問題点について考え、自分の言葉で表現することができる。正しく手洗いをするすることができる</p> <p>【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる</p>	<p>【知】小テスト</p> <p>【思】レポート</p> <p>【主】ノート</p>
6 7	12	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の基礎 ○製造機械の組み立て ○肉加工実習（ひき肉） ○農産加工実習（パウンドケーキ） 	<p>【知】製造機器の組み立てができる</p> <p>【思】食品製造の目的を発表することができる。</p> <p>【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる</p>	<p>【知】単元テスト 小テスト</p> <p>【思】レポート</p> <p>【主】ノート</p>
8 9	12	<ul style="list-style-type: none"> ○食品の変質と貯蔵 ○肉加工実習（スライス） ○農産加工実習（パン） 	<p>【知】食品が変質する原因を理解する加工工程について理解する</p> <p>【思】仲間と協力して実習を行うことができる</p> <p>【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる</p>	<p>【知】小テスト</p> <p>【思】レポート</p> <p>【主】ノート</p>
10 11	12	<ul style="list-style-type: none"> ○食品加工と食品衛生 ○肉加工実習（スライス商品） ○農産加工実習（パウンドケーキ商品） 	<p>【知】食品衛生の重要性を理解することができる。食中毒の種類や発生状況を理解することができる</p> <p>【思】仲間と協力して実習を行うことができる</p>	<p>【知】単元テスト 小テスト</p> <p>【思】レポート</p> <p>【主】ノート</p>

			【主】 課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	
12 1	12	○食品の包装と表示 ○農産加工実習（トマトペースト）	【知】 食品衛生の重要性を理解することができる。食中毒の種類や発生状況を理解することができる 【思】 仲間と協力して実習を行うことができる 【主】 課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】 小テスト 【思】 レポート 【主】 ノート
2 3	10	○食品の包装と表示 ○農産加工実習（うどん）	【知】 食品の包装方法と表示の仕方を理解することができる。 【思】 仲間と協力して実習を行うことができる 【主】 課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】 単元テスト 小テスト 【思】 レポート 【主】 ノート

オンラインプログラム「教員基礎」年間指導計画

教科名	科目名
教員基礎	教員基礎

1 教科・科目の目標

教育活動を行う際に必要な見方・考え方を働かせ、教員に必要な基礎知識を学ぶとともに、学校実習を通して児童と関わることで、教職についての理解を深め、必要な資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 児童に対する教育活動等を通じて、教員に必要な資質・能力や教職について理解するとともに、児童と関わる際に必要な技能を身に付ける。
- (2) 「授業を見る活動」、「児童生徒と遊ぶ活動」、「教員の立場を体験する活動」を通して、教職について多面的・多角的に考察するとともに、考察したことを効果的に説明したり、議論を深めたりする力を身に付ける。
- (3) 目指す教師像の実現に向けた課題を設定し、よりよい教員の在り方について主体的に追究するとともに、教育的愛情や使命感・責任感などを涵養し、教職に必要な資質・能力について自覚を深める。

2 科目の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
児童に対する教育活動等を通じて、教員に必要な資質・能力や教職について理解しているとともに、児童と関わる際に必要な技能について調べまとめている。	「授業を見る活動」、「児童生徒と遊ぶ活動」、「授業等をする活動」を通して、教職について多面的・多角的に考察しているとともに、考察したことを効果的に説明したり、議論を深めたりしている。	目指す教師像の実現に向けた課題を設定し、よりよい教員の在り方について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。

3 指導と評価の計画 (35 単位時間) ●：学習改善につなげる評価 ○：評定に用いる評価

時期	学習活動	ねらい	知 思 態			評価規準	備考
			知	思	態		
6月	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目の目的、内容を理解する ・ 教職について理解する 	●		●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職への理解が深まっている。 ・ 科目の見通しをもち、意欲が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価は WS ・ オンライン実施
	2 学校実習 事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校実習の内容について理解する ・ 授業を見る視点を設定する 					
9月	3 学校実習①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定した視点からの授業観察を通して、教員が行う児童生徒への働きかけの工夫について考察する。 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒との関わり方における工夫等について多面的・多角的に考察している。 ・ 教育的愛情が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価は WS ・ 実習先に参集
10月	4 学校実習②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒との交流を通して、児童生徒と関わる際の配慮について理解する ・ 担当教諭との振り返り、交流を通して、教職への理解を深める。 					

		・児童生徒への教育的愛情を高める。					
11月	5 学校実習③	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をする活動（レクリエーション）を行い、児童生徒と交流する技能を身に付け、理解する。 ・担当教諭との振り返り、交流を通して、教職への理解を深める。 ・児童生徒への教育的愛情を高める。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をする活動を計画・実行する際に、児童生徒との関わり方の考察を踏まえている。 ・教職への理解が深まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はWS ・実習先に参集 	
12月	6 プログラムのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を振り返り、教職に必要な資質・能力について理解する。 ・まとめの発表に向け、これまで学んだことについて整理する。 	○	●	<ul style="list-style-type: none"> ・教職に必要な資質・能力について理解している。 ・まとめの発表に向けて、学習内容を多角的・多面的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はWS ・オンライン実施 	
12月	7 まとめ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの発表に向け、これまで学んだことについて整理する。 ・まとめを発表する。 ・科目で学んだ内容について振り返る。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・教職について考察したことを効果的に説明したり、議論を深めたりしている。 ・目指す教師像の実現に向けた課題を設定している。 ・よりよい教員の在り方について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価はWS及び発表内容 ・中心校に参集

4 各プログラムの内容等

時期	学習活動	単位時間	方法	内容
6月下旬	1 オリエンテーション 2 学校実習事前指導	3	オンライン	1 オリエンテーション（70分） <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの概要説明（趣旨・目的・計画等） ・北海道教員育成指標とプログラムで育成する資質・能力 ・教師の役割について＜小・中学校を振り返る＞ （出された役割を教務、生徒指導、研修、保護者対応等に分類） →小・中学校の思い出の振り返り、教員の仕事内容の交流等 2 学校実習事前指導（70分） <ul style="list-style-type: none"> ・日程、諸注意、実習の記録、持ち物等 ・科目の目標を踏まえ、学校実習の目的の確認 ・学校実習の目標の設定 ・授業・学校生活を見る視点の設定、交流 3 本日の振り返り・次回の確認（10分）

9 月	3 学校実習①	8	実習先	1 職員室挨拶 2 担当教諭等と打合せ（朝の会について） 3 朝の会観察 4 担当教諭等と打合せ ・3日間の時程、各時程における目標の確認、注意事項の確認 5 講話（教務主任等）「教師という仕事について」 6 授業を見る活動、児童と遊ぶ活動、給食指導、清掃活動等 7 帰りの会観察、児童の下校の見送り 8 担当教諭等と振り返り
<p style="background-color: #003366; color: #ffff00; padding: 5px;"> ・学校実習①～③の内容は例示であり、学校実習受入校の実態に応じて、内容を配列する。 ・ただし、学校実習③には「教員の立場を体験する活動」を入れることとし、本活動が充実するよう、学校実習①～③の内容を配列するものとする。 </p>				
10 月	4 学校実習②	8	実習先	1 朝の会観察 2 講話（管理職等）「本校で育成を目指す児童の資質・能力について」 3 授業を見る活動、児童と遊ぶ活動、給食指導、清掃活動等 4 教材作成 5 帰りの会観察、児童の下校の見送り 6 担当教諭等と振り返り
11 月	5 学校実習③	8	実習先	1 朝の会観察 2 教員の立場を体験する活動（レクリエーション、朝・帰りの会等） 3 授業を見る活動、児童と遊ぶ活動、給食指導、清掃活動等 4 帰りの会観察、お別れの挨拶、児童の下校の見送り 5 担当教諭等と振り返り 6 職員室での挨拶
12 月 上 旬	6 プログラムの まとめ	4	オンライン	1 各自で設定した目標を踏まえ、学校実習を振り返る。（20分） 2 各自で設定した授業を見る視点を踏まえ、学校実習を振り返る。（20分） 3 振り返りの内容の交流（20分） 4 講義・演習（80分） ・教職の魅力、教師に求められる役割 ・学校で起こる生徒指導上の問題場面の事例研究、議論 5 発表準備（50分） ・「教員基礎」における学びの整理、振り返り ・発表する内容を整理、レポートにまとめる ・レポートをもとにプレゼンテーション資料の作成 6 本日の振り返り・次回の確認（10分）
12 月 中 旬	7 まとめ発表	4	参集	1 発表準備（70分） 2 まとめ・発表（100分） 3 修了式（30分） ・修了書の授与（後日送付） ・「教員基礎」の価値付け（教育大学、道教委から）

※「オリエンテーション」から「まとめ発表」までを幅広く設定する。（高校が参加しやすいようにする）
 ※プログラムで育成する資質・能力が、総合型選抜における評価材料となるようにする。
 ※「教員の立場を体験する活動」、「まとめ発表」が充実するよう、各プログラムの内容を設定する。